

議会運営委員会

日 時 令和 6 年 6 月 1 8 日 (火) 午後 時 分～
場 所 全員協議会室

1 6月21日の議事等について

(1) 議事日程

第1 一般質問

諸報告 《法人経営状況説明書類8件》

第2 報告第1号、第1号議案から第4号議案、第6号議案及び第7号議案
(質疑、付託)

第3 請願審査について (付託)

(2) 議事日程第2に係る質疑順序

①_____ ②_____ ③_____

(3) 付託先 別紙付託表 (その2)、請願文書表のとおり

※付託表 (その2)、請願文書表はサイドブックスに格納

2 請願について ※請願文書表のとおり

(1) 地方自治法改正に関する請願

<総務文教常任委員会>※意見陳述希望

(2) 現行の健康保険証の存続を求める請願

<環境市民厚生常任委員会>※意見陳述希望

3 陳情・要望について

(1) コミュニティバスの利便性向上に関する陳情 【別紙No.1】

<産業建設常任委員会>※意見陳述希望

(2) 非核・平和施策に関する要望書 【別紙No.2】

<総務文教常任委員会>

【裏面あり】

4 その他

(1) 今後の委員会等の日程

6月24日（月）	10：00～	総務文教常任委員会	議案審査
25日（火）	10：00～	環境市民厚生常任委員会	
26日（水）	10：00～	産業建設常任委員会	
27日（木） 委員会予備日			
28日（金） 13：00～ 議運事前調整（正副議長・正副委員長）			
14：00～ 幹事会・議会運営委員会			
7月 1日（月） 10：00～ 3常任委員会			
上記終了後 議運事前調整			
上記終了後 議会運営委員会			
本会議終了後 議長記者会見、広報部会・広聴部会			

(2) 意見書等提出期限 6月27日（木）10：00

(3) 討論通告期限 6月28日（金）16：00

5月24日受理(持参)

件名 コミュニティーバスの利便性向上に関する陳情

陳情の要旨

別紙 No.1

- 京都府南丹広域振興局まで、コミュニティーバスの路線延長をしていただくこと。
- 東回りコースで反対回りの運行をしていただくこと。

陳情の理由

亀岡市では、20年余り前にコミュニティーバスが運行開始され、交通利便性が向上してきました。また東コースについては、上矢田町鍬山神社前や西つつじヶ丘美山台への路線延長とダイヤの改正も行われ、地域住民に喜ばれています。

しかし、昨今、高齢化がさらにすすみ、現状ではバス停と家の間が遠いため、腰や膝の痛みを抱える高齢者にとって通院や買い物などで荷物を持っての歩行が困難な地域があります。

また、買い物後、反対回りのバス運行がないため、荷物を抱えながら一旦亀岡駅まで行って乗り換えなくてはならないことも苦痛に感じる人が増えてきました。

地域住民の身近な足としてのこのバス運行事業の充実は私達にとって重要課題であり、高齢者の健康管理にとっても大きな意味を持つといえます。

そこで、上記の内容で路線の延長、東回りコースでの反対回りバスの運行が本市として実施されるよう市議会として市に対し働きかけて下さるよう陳情します。

2024年5月24日

亀岡市議会議長 菱田 光紀 様

陳情者(代表)

住 所 亀岡市上矢田町岩田 6-29
氏 名 国道南の公共交通を便利にする会
代表 高向 美智子 ほか 814人

令和6年5月27日 受理（郵送）

亀岡市議会議員 菅田 光紀 様

別紙 No.2

非核・平和施策に関する要望書

地域住民の平和と安全、そして健全な発展のためにご尽力されていることに敬意を表します。また毎年の原水爆禁止国民平和大行進に対するご支援、ご協力に心からお礼申し上げます。

今年、広島、長崎への原爆投下から79年目を迎えました。2021年に発効しました核兵器禁止条約の批准国は70ヶ国にまでに達し、世界の核兵器廃絶を求める運動は確実に広がりつつあります。しかし、ウクライナに軍事侵攻したロシアのプーチン大統領によって核兵器の保有とその使用も辞さない構えが公言され、核をめぐる極めて危険な情勢に直面することになっています。

核兵器の使用を絶対に許さず、核をめぐる危機を乗り越えていくために、核兵器禁止・廃絶の声と行動を圧倒的に大きく広げていくことが求められています。

私たちは貴自治体と議会に対して、住民の命と安全を守る被爆国の地方自治体として、非核・平和施策の推進のために次の事項を行っていただくよう要望いたします。

< 記 >

1. 核兵器禁止条約が発効しましたが、唯一の戦争被爆国である日本政府は禁止条約に反対しています。被爆国として核兵器禁止条約に参加し、核兵器廃絶の先頭に立つよう日本政府に強く働きかけて下さい。
2. 核兵器の禁止から廃絶へ国際的な動きが広がっている今、核兵器の非人道性を告発する被爆の実相を広げることがあらためて重要になっています。原爆（写真）展の開催など住民参加の創意あるとりくみを強めて下さい。とりわけ以下の点についてご協力下さい。
 - ① 日本被団協が製作した「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」写真パネルを購入していただき、原爆写真展の開催などに積極的に活用して下さい。
 - ② 住民が行う原爆（写真）展に後援・協賛して下さい。市役所（役場）、公民館など公共施設を無償で提供して下さい。
 - ③ 教育委員会を通じて、小・中・高の児童・生徒に案内して下さい。
 - ④ 広報を通じて、住民に原爆（写真）展開催を知らせて下さい。
3. 核兵器禁止条約の発効を契機に、「唯一の戦争被爆国日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」の運動が取り組まれています。この署名運動に賛同し、住民に協力を訴えて下さい。
4. 広島・長崎に原爆が投下された8月6日と9日、終戦の日の15日には、住民のみなさんにも呼びかけて、「犠牲者への黙祷」などの非核・平和のとりくみを行なって下さい。また、貴自治体の非核・平和宣言を住民に周知徹底するとともに、宣言に基づく非核・平和施策を具体化・充実して下さい。脱原発を明記した新しい非核自治体宣言策定に住民と一緒にとりくんで下さい。
5. 子どもたちに平和の尊さを教え、被爆の実相を伝えることは重要な平和施策です。公立図書館や学校などで平和教材を充実するとともに、被爆者の体験を聞く機会を設けるなど、教育

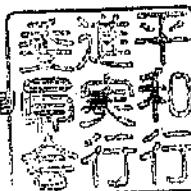
分野でのとりくみを積極的にすすめて下さい。

6. 被爆国日本の自治体が世界の自治体と連携して核兵器廃絶を国際社会に訴え、国際政治を動かすこととは、今日の核兵器をめぐる状況からも重要です。「平和首長会議」と連携した核兵器廃絶に向けた国際的な行動に積極的にとりくんで下さい。姉妹都市などに被爆組写真を送るとりくみなど海外の自治体に被爆の実相を広げて下さい。
7. ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟をはじめ原爆症認定訴訟の相次ぐ勝訴判決は、国を動かし一定の改善を実現しましたが、司法の判断と被爆者の要求とは依然として大きな隔たりがあります。被爆者が訴訟を起こすことはもう困難です。原爆症認定問題の早期解決を国に働きかけて下さい。また高齢化がすすむ被爆者への独自の援護施策を実施・充実して下さい。
8. 日本政府による反撃能力（敵基地攻撃能力）保有計画によって他国からの核兵器、生物・化学兵器等も含む報復攻撃を受けることを前提とした自衛隊基地の「強靭化」計画が進められています。また土地利用規制法に基づく特別注視区域、注視区域が指定され、住民の不安と懸念が広がっています。国民の平和と暮らしを守るために、軍事力強化で対応するのではなく、外交で解決する道への転換を、貴自治体として国に対し強く求めて下さい。
9. 自衛隊に対し隊員募集のための個人情報提供が本人同意なしに行われている場合、憲法13条・人格権のうちのプライバシー権保障に基づいて、行わないようにして下さい。
10. 若狭湾には世界有数の原発集中地帯があり、京都はその80%圏内にほぼ全域が入ります。ドイツでは昨年、すべての原発が完全稼働停止となりました。日本でも、政府・電力会社に対し、高浜原発、大飯原発をはじめすべての原発の稼働を中止し、原発の廃棄・廃炉を求めて下さい。原発事故の危険から住民の安全を確保するために全住民を対象とした実効ある避難計画を作成するなどの安全・防災対策を強化して下さい。独自の自然再生エネルギー政策を確立し、とりくんで下さい。

2024年5月20日

原水爆禁止国民平和大行進

京都実行委員会代表 捱



2023年原水爆禁止国民平和大行進京都実行委員会

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都内

原水爆禁止京都協議会 気付 電話: 075-811-3203 FAX: 075-811-321

令和6年6月議会議案付託表(その2)

付託委員会	議案番号	件名
総務文教 常 任	1 2 3 4	令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第1号) 亀岡市不当要求行為等対策条例の制定について 亀岡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について 石田梅岩記念館設置条例の制定について
環境市民 厚生常任	報1 1 6	専決処分の承認を求めることについて 亀岡市税条例及び亀岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第1号) 亀岡市立保津保育所移転整備工事(建築)請負契約の変更について
産業建設 常 任	1 7	令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第1号) 市道路線の認定及び変更について